

# 2012年3月期 第2四半期決算説明会

(2011年4月1日～2011年9月30日)

株式会社 精工技研

2011年11月15日

- I . 2012年3月期 第2四半期決算概要
- II . 2012年3月期 連結業績見通し
- III . マスタープラン2010の進捗について

- I . 2012年3月期 第2四半期決算概要
- II . 2012年3月期 連結業績見通し
- III . マスタープラン2010の進捗について

# 2012年3月期 第2四半期連結決算ハイライト①

(百万円・%)	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	対前期 増減率	業績予想値 (2011/5/13)
売上高	2,437	2,467	△1.2%	2,640
精機製品関連	444	464	△4.5%	610
光製品関連	1,993	2,002	△0.5%	2,030
営業利益	△21	△113	—	△70
経常利益	△26	△122	—	20
当期純利益	△5	△568	—	10

# 2012年3月期 第2四半期連結決算ハイライト②

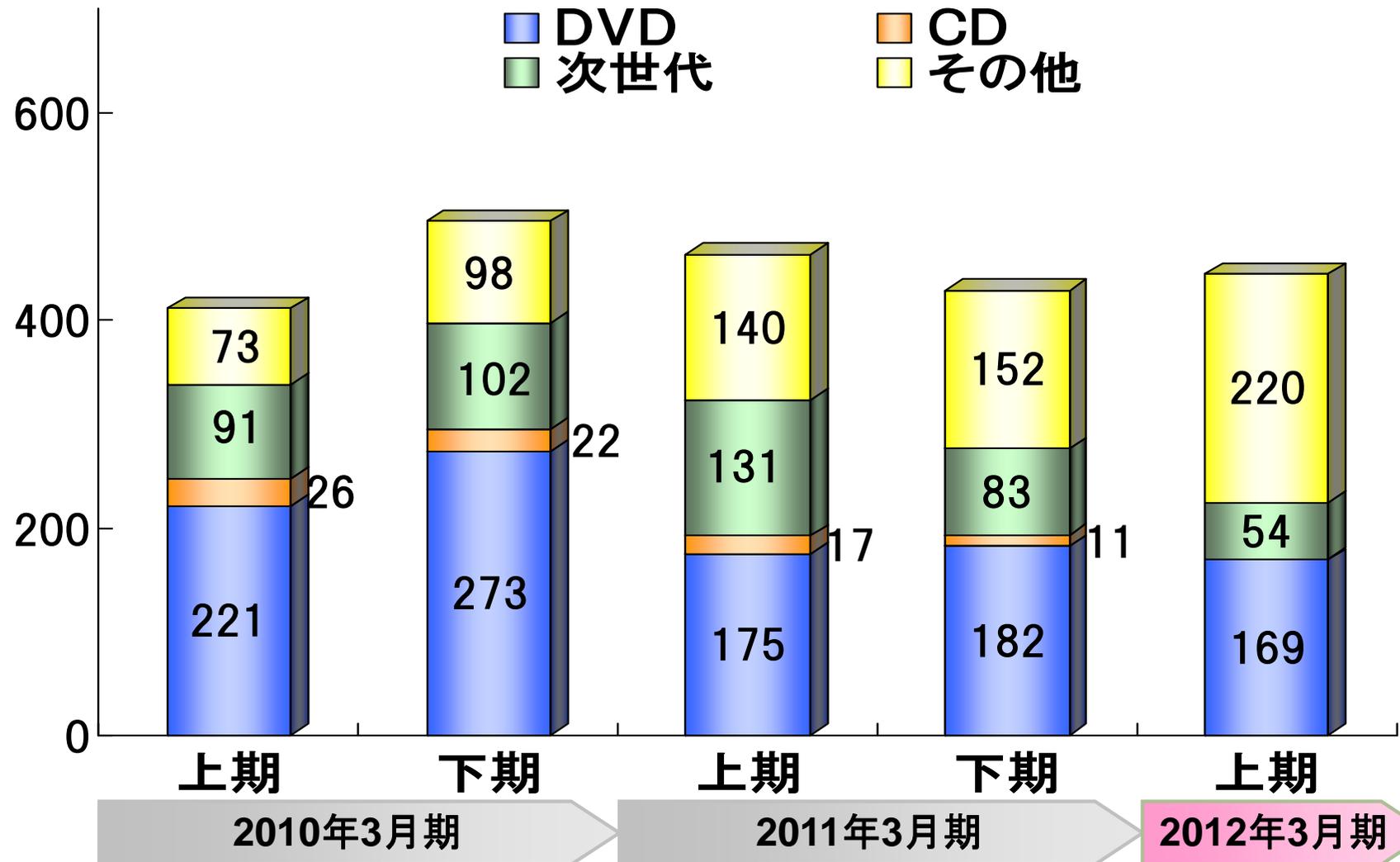
(百万円・%)	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	対前期 増減率
受注高	2,417	2,518	△4.0
受注残	478	457	4.6
設備投資	54	148	△63.4
減価償却費	116	156	△25.7
研究開発費	155	250	△37.8

# セグメント業績／精機事業

(百万円・%)	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	対前期 増減率
売上高	444	464	△4.5%
営業費用	593	666	△11.0%
営業利益	△148	△201	—
営業利益率	△33.5%	△43.2%	+9.7%

# 製品別売上高／精機部門

百万円

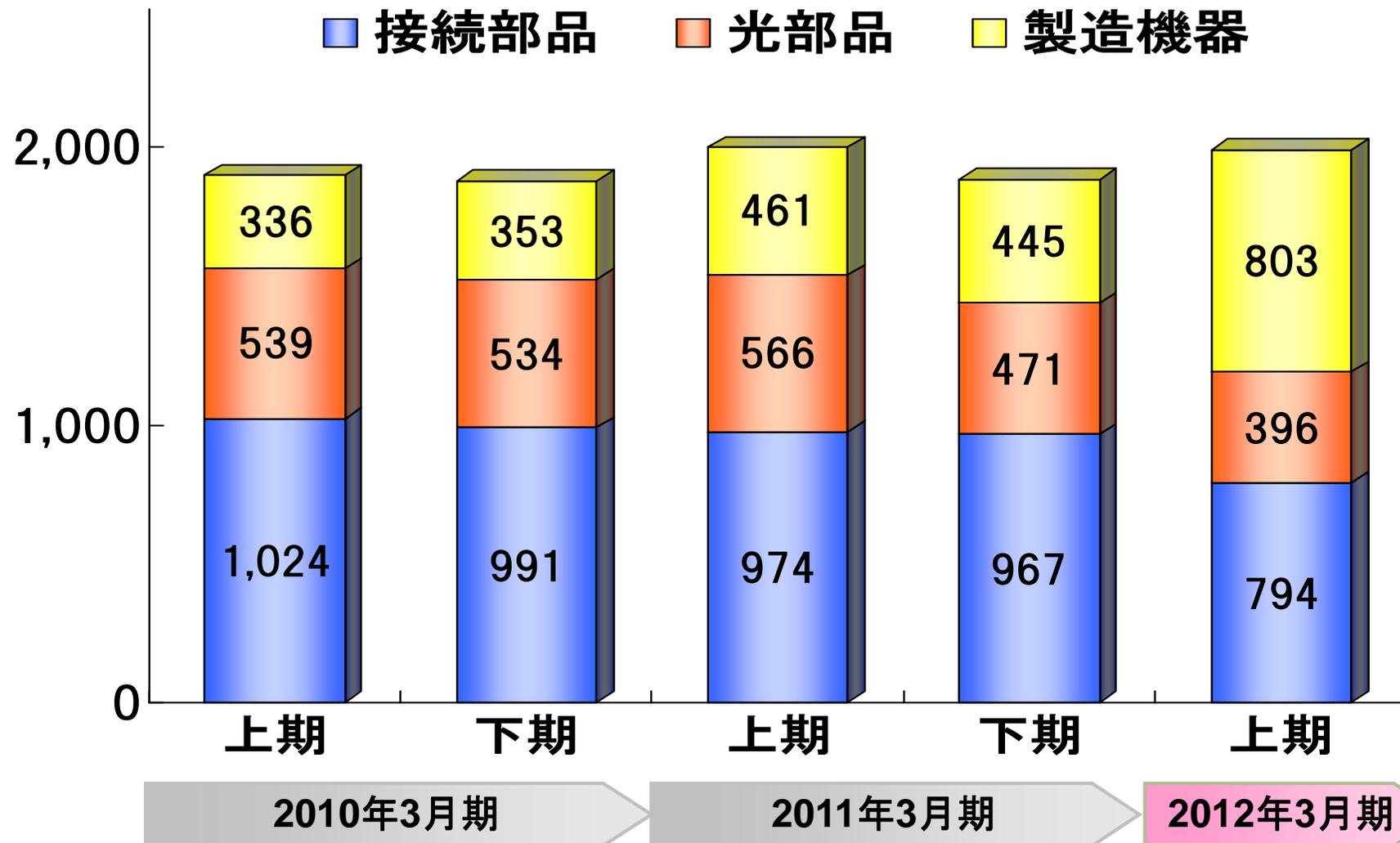


# セグメント業績／光製品事業

(百万円・%)	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	対前期 増減率
売上高	1,993	2,002	△0.5%
営業費用	1,866	1,915	△2.6%
営業利益	127	87	+45.7%
営業利益率	6.4%	4.4%	+2.0%

# 製品別売上高／光製品部門

百万円



## 連結貸借対照表

(百万円)

科目	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期	増減額
＜資産の部＞			
流動資産	15,401	15,203	+198
固定資産	5,250	5,385	△134
資産合計	20,651	20,588	+63
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	699	681	+18
固定負債	607	600	+7
純資産	19,344	19,306	+37
負債純資産合計	20,651	20,588	+63

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

項目	2012年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期
営業 C F	△76	△590
投資 C F	90	348
財務 C F	0	0
現金増減額	32	△303
期首残高	1,624	1,671
期末残高	1,657	1,368

- I . 2012年3月期 第2四半期決算概要
- II . 2012年3月期 連結業績見通し**
- III . マスタープラン2010の進捗について

## 2012年3月期 連結業績見通し

(百万円・%)	上半期 実績	下半期 見通し	通期 見通し	前期実績	対前期 増減率
売上高	2,437	2,393	4,830	4,779	1.1%
営業利益	△21	41	20	△164	—
経常利益	△26	46	20	△19	—
当期純利益	△5	5	0	△512	—
設備投資	54	107	161	320	△50.0%
減価償却費	116	137	253	267	△5.2%
研究開発費	155	131	286	435	△34.3%

# 2012年3月期 連結業績見通し（事業別）

（百万円・％）

	上半期 実績	下半期 見通し	通期 見通し	前期実績	対前期 増減率
<b>精機事業</b>					
売上高	444	586	1,030	893	15.3%
営業利益	△148	△32	△180	△354	—
<b>光製品事業</b>					
売上高	1,993	1,807	3,800	3,886	△2.2%
営業利益	127	73	200	190	5.3%

- I . 2012年3月期 第2四半期決算概要
- II . 2012年3月期 連結業績見通し
- III . マスタープラン2010の進捗について

# 「マスタープラン2010」 骨子

## 1. 事業の再構築

経営資源の選択と集中を行い、筋肉質な企業体質を構築する。

## 2. 事業拡大戦略

グローバル・マーケットインの営業戦略と商品戦略により、事業拡大を図る。

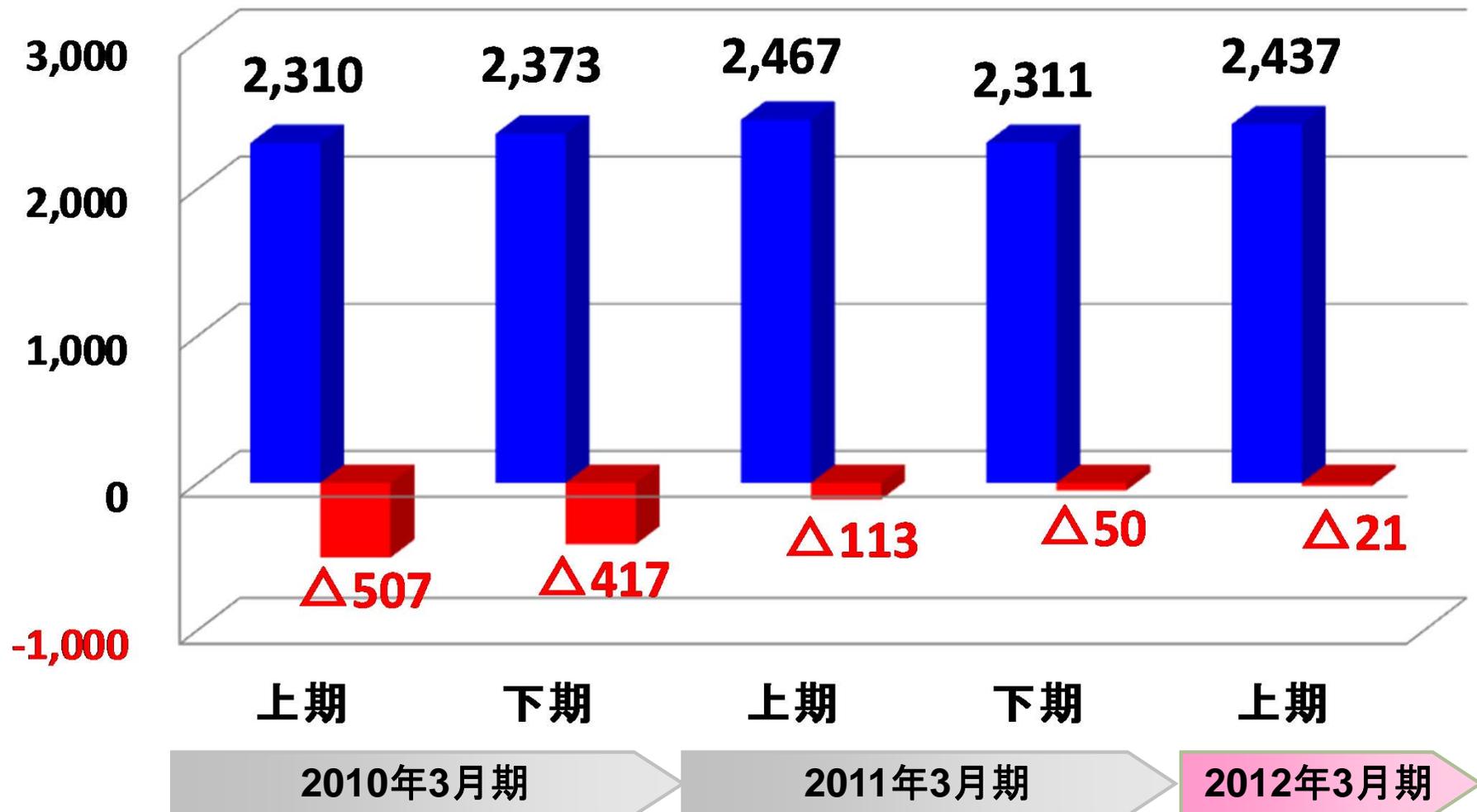
## 3. 組織の変革

機能別組織体制へ移行すると共に独立採算運営、損益責任の明確化を図る。

# 営業損益の改善

(百万円)

■ 売上高 ■ 営業損失



# 「マスタープラン2010」の進捗 ①

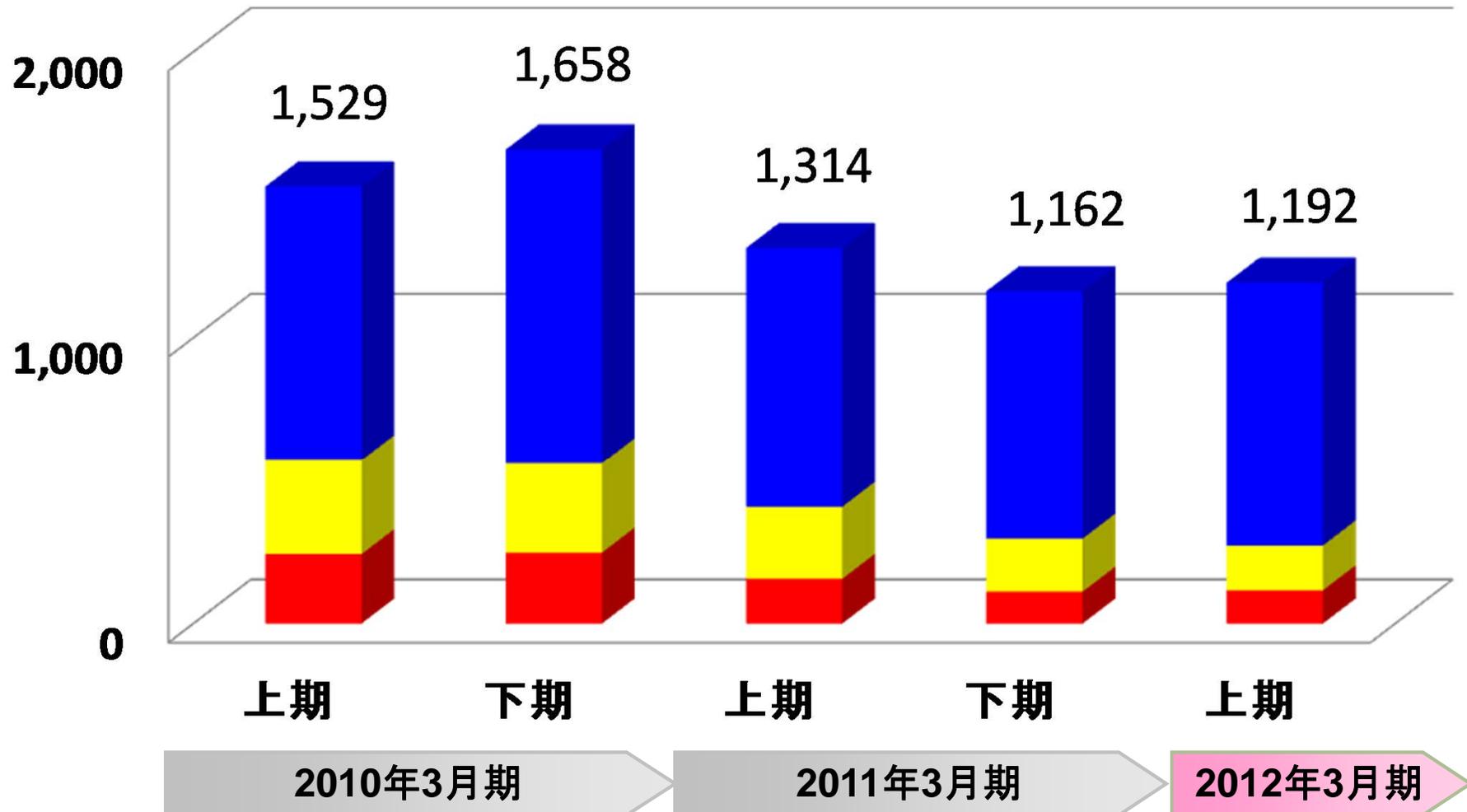
## 1. 事業の再構築

重点施策	実施状況
◆ 不採算事業・不採算製品の見直し	アイソレータ生産撤退 マイルストーンの事業縮小
◆ 拠点体制の最適化	香港精工技研の休眠化 工場の集約（第4工場 ⇒ 本社工場）
◆ 開発投資の選択と集中	開発案件の絞込み実施
◆ 経営資源の適正化	希望退職者募集の実施 第1工場の売却

## 固定費の減少

(百万円)

■ 減価償却費 ■ 研究開発費 ■ 人件費



# 「マスタープラン2010」の進捗 ②

## 2. 事業拡大戦略

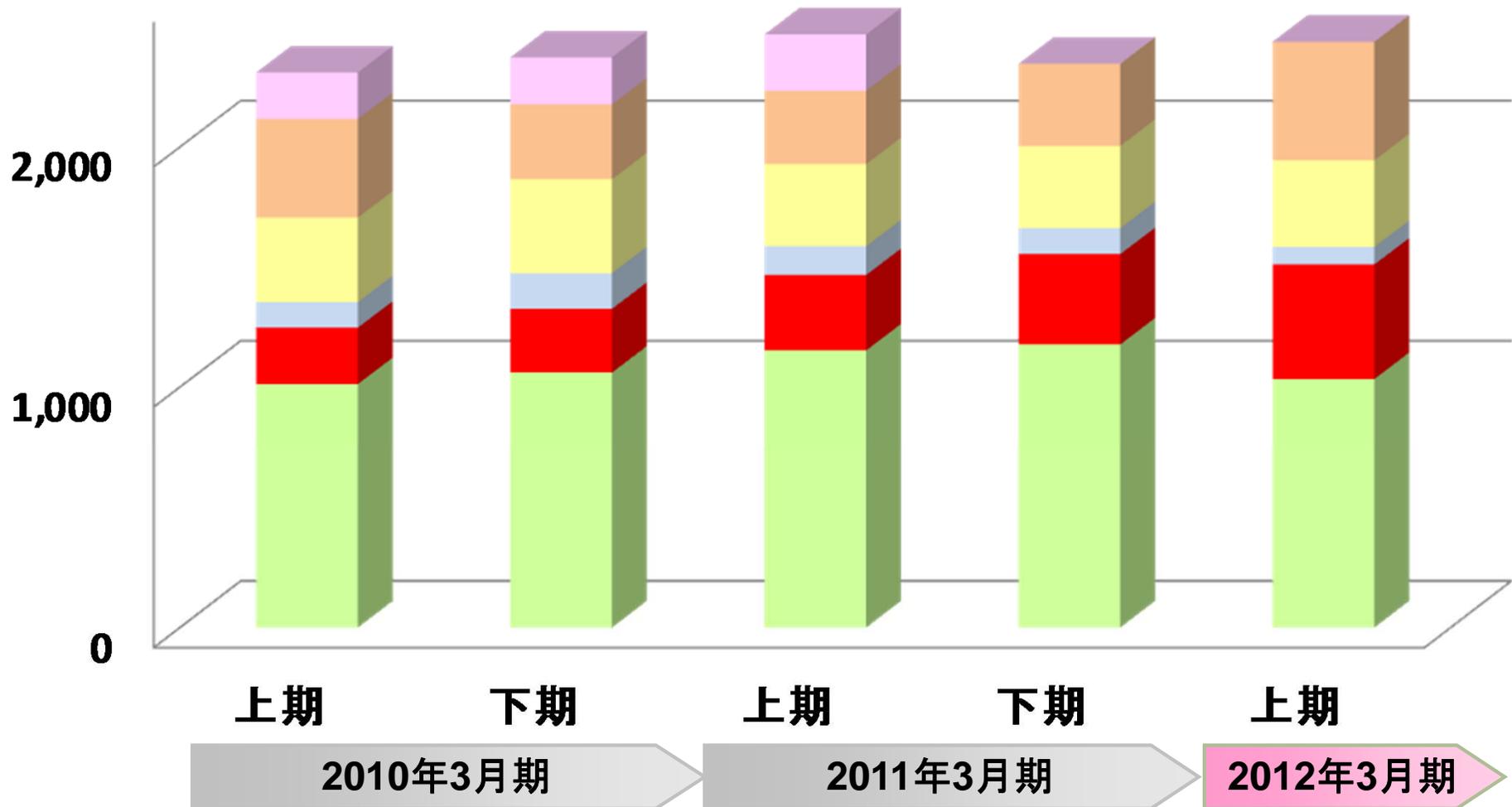
重点施策	実施状況
◆ 中国市場の営業強化	杭州精工技研の営業組織強化
◆ 新規ビジネスの開拓	新規事業開拓専任組織設置

## 3. 組織の変革

重点施策	実施状況
◆ 組織の改編／商流の最適化	日本本社を經由しない商流へ改編推進

# 拠点別売上高

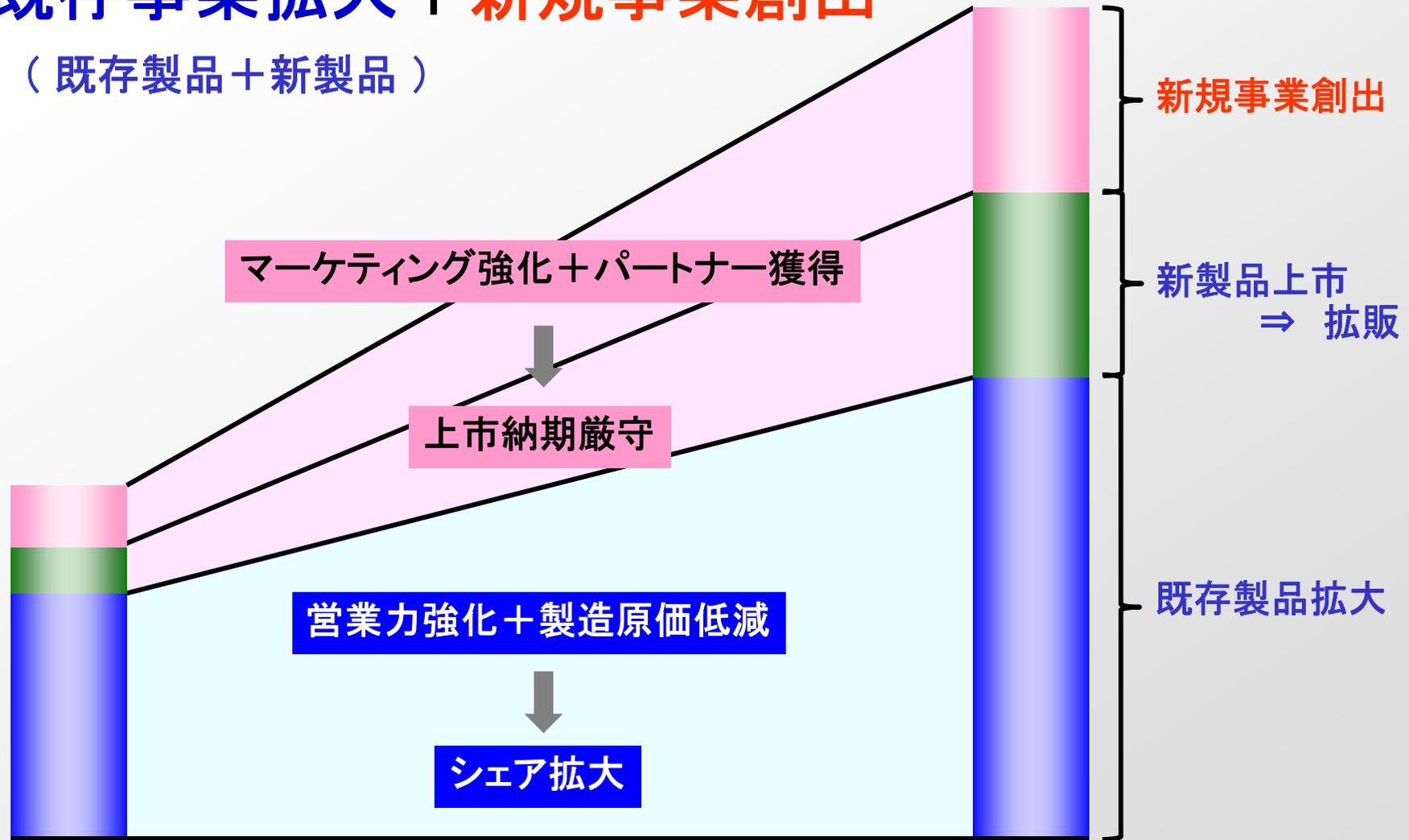
(百万円)    ■ 本社   ■ 杭州   ■ 大連   ■ USA   ■ EUROPE   ■ その他



# 長期発展イメージ

## 既存事業拡大 + 新規事業創出

( 既存製品 + 新製品 )



## 当期の重点方針

### 1. 黒字化（税引前利益ベース）

### 2. 経営基盤の確立

⇒ 利益を生み出す強固な経営基盤を確立する

① 販売体制の強化

② 価格競争力の強化

### 3. 新事業・新製品の基盤強化と創出

⇒ 次代を担う新事業・新製品の創出を加速する

